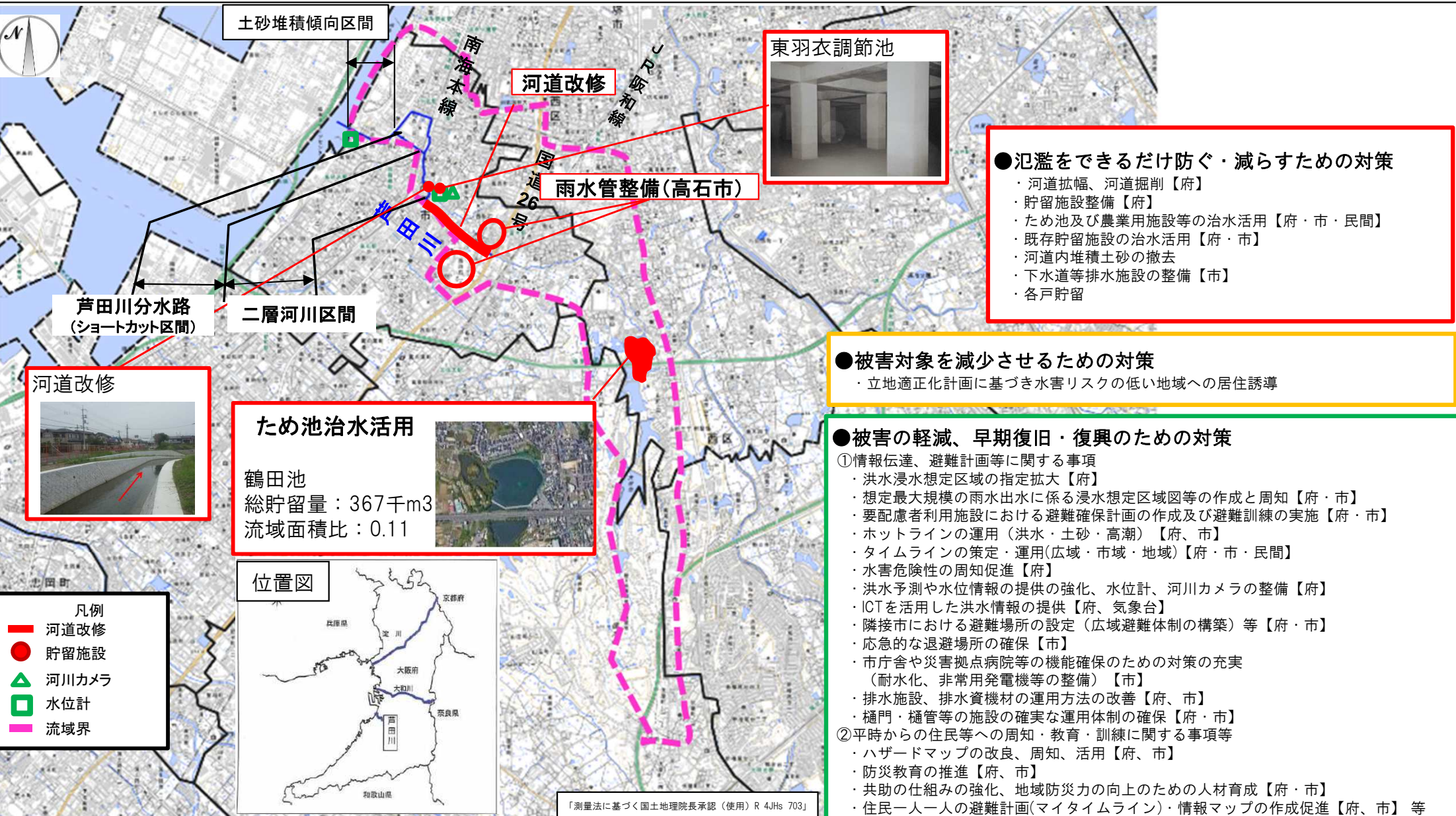


○ショートカット区間上流端から二層河川区間上流端までの区間は下層のボックスカルバートと上層の河川整備を行うことにより時間雨量80ミリ程度の降雨を安全に流下することが可能。二層河川区間上流端から国道26号までの区間は時間雨量50ミリ程度の降雨による床下浸水と時間雨量80ミリ程度の降雨による床上浸水を防げるよう河道改修を行っている。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・河道拡幅、河道掘削【府】
 - ・貯留施設整備【府】
 - ・ため池及び農業用施設等の治水活用【府・市・民間】
 - ・既存貯留施設の治水活用【府・市】
 - ・河道内堆積土砂の撤去
 - ・下水道等排水施設の整備【市】
 - ・各戸貯留

- 被害対象を減少させるための対策**
- ・立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ①情報伝達、避難計画等に関する事項
- ・洪水浸水想定区域の指定拡大【府】
 - ・想定最大規模の雨水出水に係る浸水想定区域図等の作成と周知【府・市】
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施【府・市】
 - ・ホットラインの運用(洪水・土砂・高潮)【府・市】
 - ・タイムラインの策定・運用(広域・市域・地域)【府・市・民間】
 - ・水害危険性の周知促進【府】
 - ・洪水予測や水位情報の提供の強化、水位計、河川カメラの整備【府】
 - ・ICTを活用した洪水情報の提供【府、気象台】
 - ・隣接市における避難場所の設定(広域避難体制の構築)等【府・市】
 - ・応急的な退避場所の確保【市】
 - ・市庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電機等の整備)【市】
 - ・排水施設、排水資機材の運用方法の改善【府、市】
 - ・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保【府・市】
- ②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等
- ・ハザードマップの改良、周知、活用【府、市】
 - ・防災教育の推進【府、市】
 - ・共助の仕組みの強化、地域防災力の向上のための人材育成【府・市】
 - ・住民一人一人の避難計画(マイタイムライン)・情報マップの作成促進【府、市】等

ため池治水活用

鶴田池
総貯留量：367千m³
流域面積比：0.11

河道改修

東羽衣調節池



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 芦田川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 住宅密集地の重大災害発生を未然に防ぐため、河道改修に着手。
 - 【中期】 1/10確率降雨に対して浸水を発生させない、かつ1/100確率降雨に対して床上浸水を発生させない対策を完了。
河道改修およびため池の治水活用の推進。
 - 【中長期】 1/100確率降雨に対して床下浸水を発生させない対策を完了。
調節池整備の推進。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぎ減らすための対策	河道改修・河道掘削	大阪府	[Red bar]		
	貯留施設の整備	大阪府、高石市	[Red bar]	[Red bar]	[Red bar]
	ため池の治水活用	大阪府、高石市、民間	[Red bar]		
	既存貯留施設の治水活用	大阪府	[Red bar]		
	雨水管整備	高石市、堺市	[Red bar]	[Red bar]	[Red bar]
	河道内の堆積土砂撤去	大阪府	[Red bar]	定期点検による継続監視及び状況により適宜実施	[Red bar]
被害対象を減少させるための対策	水害リスクの低い地域への居住誘導(立地適正化計画策定等)	高石市	[Yellow bar]		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成 ・防災気象情報の改善等	大阪府、高石市、民間、気象台	[Green bar]		
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・マイタイムラインの策定等 ③減災・防災に関する国の支援	大阪府、高石市	[Green bar]		

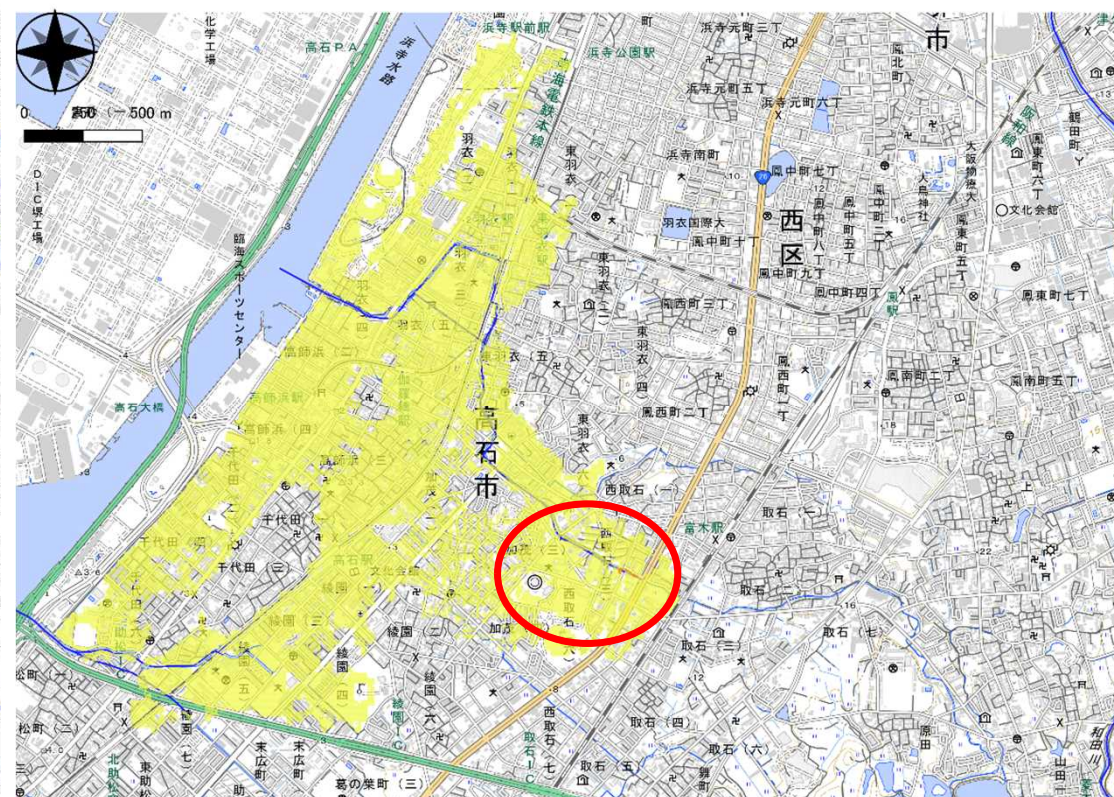
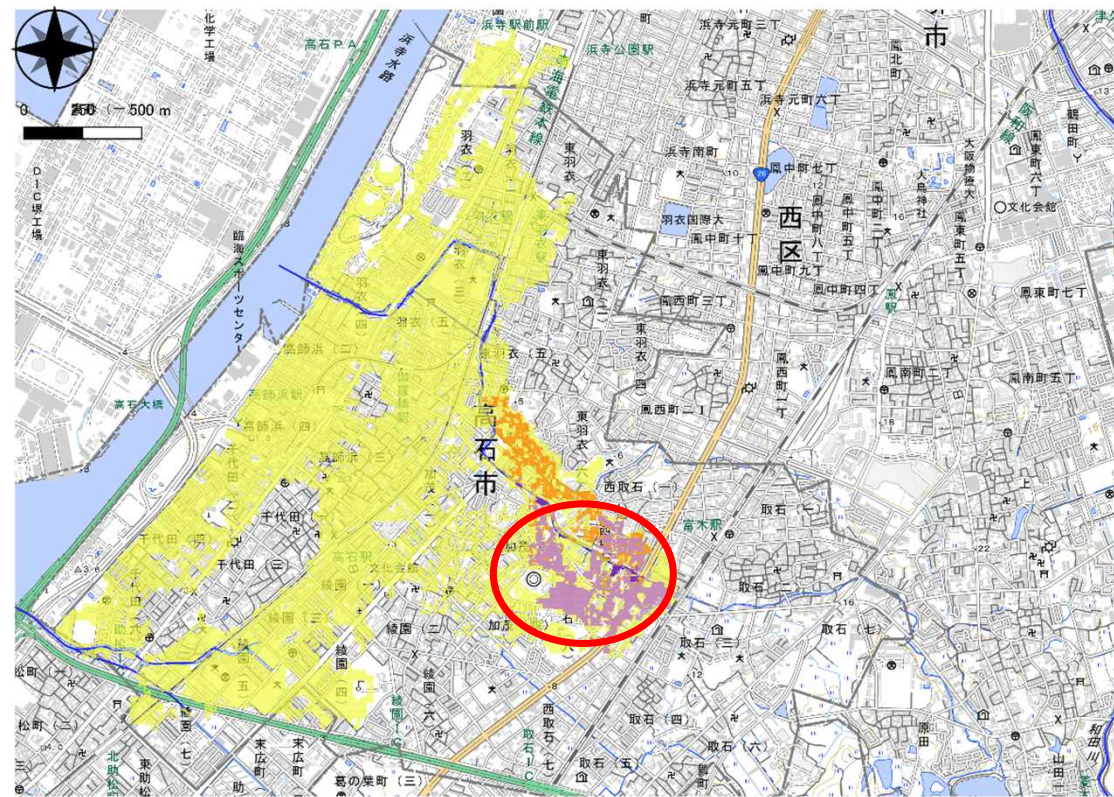
新規貯留施設概成

洪水浸水想定区域指定拡大完了(R4年度)

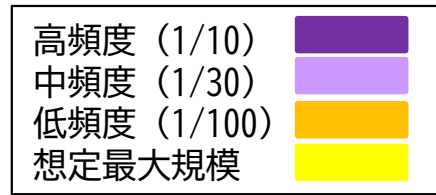
雨水出水浸水想定区域図作成・公表(R7年度)

現状

整備後



河道掘削や新規調節池の整備のほか、既存調節池やため池の活用を推進により、芦田川：時間雨量50ミリ程度（1/10）の降雨に対し、家屋床上浸水が解消する



「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHS 703」

※この図は、氾濫シミュレーション時点（H30）の施設整備状況において、1/10、1/30、1/100の確率年及び想定最大規模の降雨により想定される、府管理河川の外水氾濫の浸水範囲である（現状は5m、整備後は25mメッシュデータ）。

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率:8%

(令和5年度末時点)

農地・農業用施設の活用



3市

(令和5年度末時点)

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
2施設

(令和5年度末時点)

立地適正化計画における防災指針の作成



1市

(令和5年度末時点)

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水
想定区域 2河川

雨水出水
浸水想定区域 0団体

(令和5年度末時点)

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水 437施設
土砂 9施設
高潮 206施設

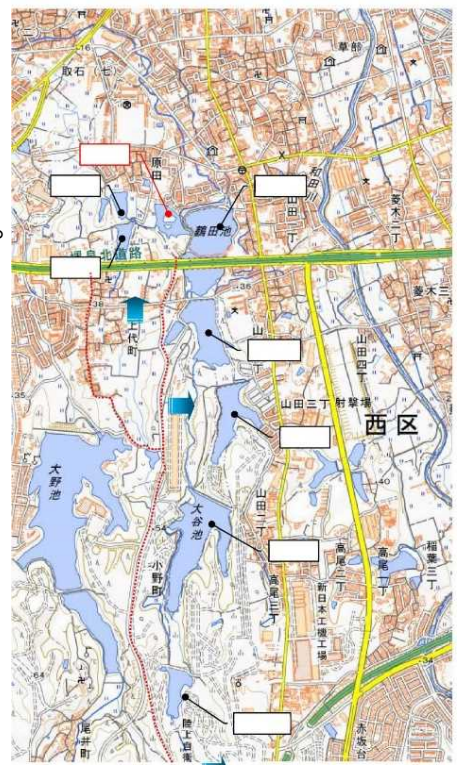
避難訓練 15施設

(令和5年9月末時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

ため池の治水活用

上流部に位置する鶴田池等のため池群は、降雨時に雨水を一時的に貯留する機能を有します。



被害対象を減少させるための対策

高石市の立地適正化計画策定の取組み

「安全・安心な都市の形成に向けた防災まちづくり」を掲げ、中長期的な居住者の安全を確保し、ハード・ソフト両面の取組により、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指します。また、国土強靱化地域計画や地域防災計画と連携するとともに、避難環境の拡充や住宅の防災性向上をはじめとする効率的・効果的な防災・減災対策に取り組めます。



凡例	
実行地域	第一種小規模住居形成地域
都市機能集約地域	第二種小規模住居形成地域
居住集約地域	第一種中規模地域
生活学習交流地域	第二種中規模地域
駅	準住居地域
道路	公園遊歩地域
	準工業地域
	工業集約地域

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

「高石市総合防災マップ」・「洪水ハザードマップ（追補版）」の作成、全戸配布

高石市では、大阪府が公表した高潮、洪水（芦田川）の浸水想定区域図、本市が公表した内水浸水想定区域図をもとに作成したハザードマップの情報に加え、災害時に取るべき情報や平時からできる災害への備えなどの情報を掲載している「高石市総合防災マップ」を令和3年6月に作成、全戸配布を実施し、説明会を開催しました。

また、大阪府が新たに公表した王子川の浸水想定区域図をもとに「洪水+内水ハザードマップ（追補版）」を、令和4年11月に作成し、全戸配布を実施しました。一人一人が災害時に適切な避難行動をとれるよう今後も引き続き周知、啓発を図ります。

